

JC 用語解説

あ行

アクティブメンバー	全体の中の個人・個人であって集団であることの自覚を持ち、責任を果たし、社会開発と自己開発に挑戦し、活発に行動する会員。
アジェンダ	理事会や委員会等を運営する際の式次第。
アテンダンス	総会・例会・各会合に出席すること。それらの証明をアテンダンスカードと呼ぶ。
アドバイザー	パネルディスカッションなどの討議会の際に、会議を進行するために助言を行う講師のこと。
委員会	青年会議所内で目的を達成するために各種担当する担いに振り分けられた組織のこと。
エントリー	各 LOM が褒賞獲得のため、または各種大会誘致のために立候補すること。

か行

ガイダンスメンバー	オリエンテーション、委員会等でガイダンス勉強期間中の新入会員の呼称。
京都会議	日本 JC が毎年 1 月に、京都国際会議場で行う会議のこと。年度の事業計画・予算決定・事務引き継ぎ等が行われる。
業種別部会	同業種に従事する会員の集いで、JC 運動を縦軸とした場合、横軸として意義づけられている。
コーディネーター	会議の際にそれまで出てきた内容を集約、調整し会議を進行させる担当者。
コンファレンス	主として特定地域（アジア・ヨーロッパ・北米等）の国際青年会議所に属する複数の国家青年会議所が参加する国際会議のこと。
コロッキー	パネルディスカッションと同じ形式の会議方法だが、専門家が途中で追加出席し意見を述べ、討論が一方向的な方向に行かないようにコントロールできる。

さ行

サマーコンファレンス	JC の主要テーマである『まちづくり』『国際貢献』『環境』を中心に、検討・研究する大規模なセミナーのこと。また、その検討・研究の成果を提言として発表している。93年まで続いていた青年経済人会議を発展させた会議でもある。
三分間スピーチ	LD手法の一つで、電話1通話の時間内即ち三分間で自己紹介から始まり、テーマにそったスピーチを完了させる方法。
姉妹JC	国際青年会議所に加盟している国家青年会議所及び市単位、県単位又は各青年会議所の相互間の親善と友好のために、相互の交流を行う締結関係を結んだ青年会議所のこと、シスターJCともいう。
シニアクラブ	日本JC・シニアクラブは、JC卒業生同窓会として相互の親睦を図るとともに、現役活動を陰ながら援助しようという目的で1960年に設立された。JC卒業生なら誰でも入会できる。
出向者	各地青年会議所より国際青年会議所・日本青年会議所・地区協議会・ブロック協議会役員や委員として出向するメンバー。
シンポジウム	語源はギリシャ語といわれ、「親しい者同志がなごやかにしょくじをする」の意。ある大きなテーマを中心に多くの報告者によって各々の立場から関連したことが講演形式によって述べられる。討論は行われないが、各報告に対する質問は許される。
スポンサーJC	青年会議所未設立の地域の青年有志に働きかけ、設立を指導援護する青年会議所のこと。
スリーピングメンバー	資格を持ち、活動が義務づけられているにもかかわらず、その活動及び例会・総会などにも積極的に参加しない会員のこと。
セネター制度	JC終身制度のことで、JC運動に多大なる貢献をしたメンバーをLOMが承認・推薦し、NOM及びJCIの承認を経てその資格—終身番号が与えられる。与えられた終身番号は、会員の死後も永久に残るといふ名誉ある資格である。
セミナー	大学の教育方法の一つ。講師の指導のもとに参加者が集って、討議して進める共同研究のこと。

た行

地区協議会	<p>日本青年会議所としての事業計画・方針などを各ブロック及び各 LOM に伝達浸透させ、また一方では、各 LOM の事業活動・意見などを、日本青年会議所に報告連絡する為の機関である。</p> <p>現在、日本青年会議所は 10 区分されており、10 の地区協議会がある。</p> <p>北海道・東北・関東・東海・北陸信越・近畿・中国・四国・九州・沖縄</p>
チャーターメンバー	各地青年会議所が設立された時に入会した初代会員の呼称。
直前会頭・直前理事長	<p>単年度制をとっている JC では、日本青年会議所前年度会頭を直前会頭、LOM の前年度理事長を直前理事長と称している。</p> <p>地区・ブロックでは直前会長と呼ぶ。</p>

な行

日中友好の会	全国中華青年聯合会との交流を行い、文化、経済への支援等を行っている。研修生の受け入れ事業等の歴史を持つ。
日本 JC 共済会	一般の共済会と同様に JC メンバーの福利厚生を目的としているのと合わせて、日本 JC、LOM の財政基盤を充実させている。
日本 JC ・シニアクラブ	日本 JC ・シニアクラブは、JC 卒業生同窓会として相互の親睦を図るとともに、現役活動を影ながら援助しようという目的で 1960 年に設立された。JC 卒業生なら誰でも入会出来る。
日本 JC セネタークラブ	セネター制度によって登録された会員の有志の組織で、セネター相互の交流のほか、JCI への貢献活動を行っている。
認承証伝達式	新規に設立を承認された JC に対し、日本 JC からその認承証が正式に伝達される時の式典である。

は行

バズセッション	<p>討論方法である。まず皆が発言出来るような小グループに分け、ここで個人個人の意見を自由に表現させ、その意見を調整し、持ちより、全員参加の総会を開く。即ち全員に発言を許し、会議の結論に貢献させる方便として考えられた。この小グループによる話し合いの過程をバズセッションという。</p>
バッジ	<p>1930年にダーワード・ホーウズ氏によってJCマークをデザインしたのである。 ※ダーワード・ホーウズ氏：1930～31年のアメリカJC会頭。</p>
パネルディスカッション	<p>パネリストによる密度の高い座談会である。多くの者が全員討議するかわりに数名のメンバーを選んでそのメンバー間で自由に討論してもらう形式。</p>
パネリスト	<p>パネルディスカッションを行う時に、各分野から出席する数名の意見発表者のこと。</p>
ブレインストーミング	<p>皆が集まって、あらかじめ議題を定めず、何人にも拘束されずに自由に自己の創造的アイデアを思いつくままに出していき、集団の集中的ディスカッションによって良い考えを発見・発展させようとする方法。(集団的創造開発の方法)</p>
フィリップ 66 方式	<p>バズ方式に似たもので、多人数の場合小グループ(6人)に分け、6分間という時間を定めて短時間に集中的に各グループが会議を行う方式のこと。66式討議ともいう。</p>
FC 構想	<p>フューチャークラブ構想の略。青少年が手をつなぐ運動のこと。地域社会にある既成の青少年グループ。会員自身の子弟、会員の経営する企業内の勤労青少年などを始動団体として、明日の日本の為の広場づくりを進める働きかけのことである。</p>
ブロック協議会	<p>日本青年会議所及び地区協議会としての事業計画・方針などを各LOMに伝達浸透させ、また一方では、各LOMの事業活動・意見などを、日本青年会議所及び地区協議会に報告連絡する為の機関である。現在、日本青年会議所には47ブロック協議会があり、主な事業としては、各ブロック会員大会がある。</p>

ま行

まちづくり市民団体	市民が主体的に行うまちづくり運動の研究、提案、助成を行い地域の発展に寄与することを目的に設立された。
マニュアル	手引き書のこと、日本 JC には組織に関するもの、運営に関するもの、事業に関するもの等多くのマニュアルを持っている。

ら行

ロシア友好の会	民間外交に貢献することを目指し設立。ロシア研修生の受け入れ支援や訪ロミッションの派遣、北方領土返還運動支援等を行っている。
ロバート議事法	ロバート・ルールズ・オブ・オーダー。多数者の権利・少数者の権利・個人の権利・不在者の権利の 4 つの権利を基本的な原則として行う会議運営の方法。これは国連をはじめ、世界各国で採用され、国際青年会議所・日本青年会議所でも正式に採用されている。
理事会	理事・役員に選出された会員が報告や今後の方針について議論し、確認や決定を行う場。
例会	例会は、会員の資質向上、相互の意見交換・友好促進・会員としての意識の高揚・会員間連帯のきずなを深めるための会合。

ら行

ワールド कांग्रेस	国際青年会議所が主催し、年 1 回開催される世界会議のことで、国際青年会議所の事業計画・予算の決定・役員選出・褒章の授与・翌年度の開催地の決定などが行われる JCI の最高の意思決定機関（総会）。
---------------	--

A

AOY	読み：えーおーわい LD 手法の一つで、3 分間で自己紹介から始まり、テーマに沿ったスピーチを完了させる。
-----	--

B

BOM	読み：ぼむ ブロック協議会のこと。
-----	----------------------

C

CRA	読み：しーあーるえー 解説：Community Relation Approach（コミュニティー・リレーション・アプローチ）の略で企業と地域社会の信頼関係をうちたてる方法。
CD	読み：しーでいー コミュニティー・ディベロップメントの略で社会開発のこと。

D

DOM	読み：どむ 地区協議会のこと。
-----	--------------------

F

FC 構想	読み：えふしーこうそう フューチャークラブの略で青少年が手を繋ぐ運動。
-------	--

J

JAYCEE	読み：じえいしー 青年会議所会員個々人のこと。
JC	読み：じえいしー 「Junior Chamber」の頭文字をとったもので青年会議所の意。
JCI	読み：じえいしーあい 「Junior Chamber International」の頭文字をとったもので、国際青年会議所の意。各国青年会議所の連絡・統合・調整機関で、本部はアメリカ・フロリダ州のコーラル・ゲイブルズにある。
JCデー	読み：じえいしーでー 日本において最初に青年会議所運動が開始された 1949年9月3日を記念して、毎年9月3日をJCデーと称している。

K

KJ法	読み：けいじえーほう 創造力開発の手法。情報の賛否を行わずに文字化していき、それらの文字を組み立てる方法。
-----	--

L

LIA	読み：えるあいえー Leadership In Action（リーダーシップ・イン・アクション）の略で個人と集団の指導力を開発するプログラム。
LOM	読み：ろむ 「Local Organization Member」の頭文字をとったもので、国家青年会議所の中に属する各地青年会議所の意。栃木青年会議所は日本青年会議所の1LOMである。

M

MIA	<p>読み：えむあいえー</p> <p>Management In Action（マネージメント・イン・アクション）の略でより高き経営者を目指す経営開発マニュアルの主流プログラム。</p>
MD	<p>読み：えむでいー</p> <p>マネージメント・ディベロップメントの略で経営開発のこと。</p>

N

NOM	<p>読み：ノム</p> <p>「National Organization Member」の頭文字をとったもので、国家青年会議所の意。例えば、日本青年会議所は、国際青年会議所の中の1NOM（国家青年会議所）である。</p>
-----	---